

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会（第5回）

■日時：平成30年3月14日（水）午後3時～4時45分

■場所：市役所教育委員会室

次 第

1 開会

2 議事

- (1) 前回までの議論について
- (2) 教育課程上の位置付けと学習の進め方について
- (3) 武蔵野市民科で取り扱う学習内容について

3 その他

- ・次年度の委員会について

4 閉会

武蔵野市民科カリキュラム 作成委員会（第5回） 事務局説明資料

平成30年3月14日（水）

武蔵野市民科の必要性

複雑で予測困難な時代

グローバル化、社会構造の変化、生産人口の減少、地域のつながりの希薄化…など

武蔵野市のよさ

地域の高い教育力、高い市民意識、市政への市民参加…など

子どもの実態と目指す姿

地域・社会とのつながりに気づき、子どもたちの社会参画意識を更に醸成

「市民性を育む教育」を武蔵野市立小・中各学校の
カリキュラム・マネジメントの中核へ

「武蔵野市民科」

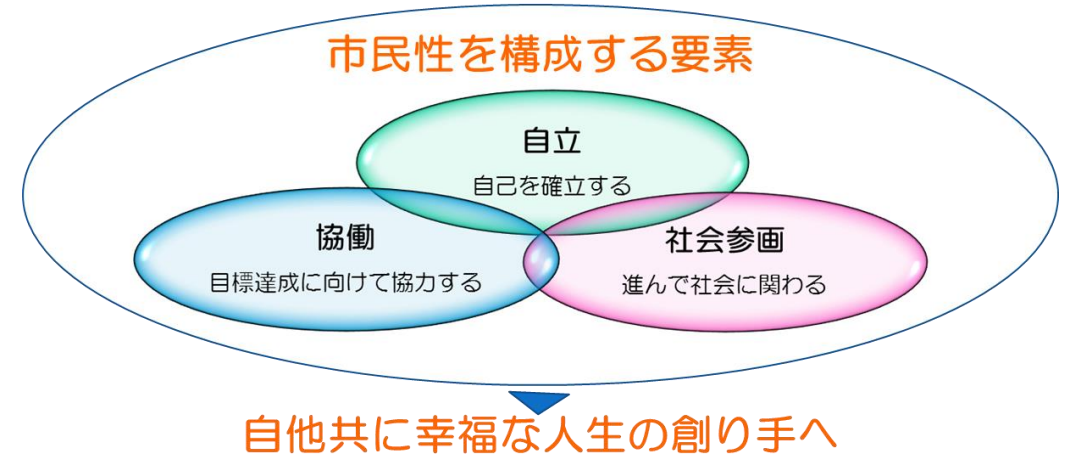
学校ごとの特色ある
市民科の取組を発信

市民科を通して保護者の
地域参画も促す

武蔵野市民科の目標及び育みたい資質・能力

①武蔵野市民科の目標

武蔵野市民として、自己・学校・地域・社会の中から課題などを見つけ、解決しようとする取り組みをとおして、自他共に幸福な人生の創り手となるために必要な「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育てる。



②武蔵野市民科で育みたい資質・能力～

	自立 (自己を確立する)	協働 (目標達成に向けて協力する)	社会参画 (進んで社会に関わる)
主に「生きて働く知識・技能」の習得に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、自己管理能力 	<ul style="list-style-type: none"> 他者理解、人間関係形成能力 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会的課題などへの理解
主に「思考力・判断力・表現力等」の育成に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 情報活用能力 クリティカル・シンキング（批判的思考） 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成に向け、他者と協力する力 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力
主に「学びに向かう力や人間性等」の涵養に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識、責任感 自尊感情 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活を協力して築こうとする態度 自己有用感 	<ul style="list-style-type: none"> 公共心や、社会連帯の自覚

2. 本日の議題①

教育課程上の位置付けと学習の進め方について

(第1回資料より)

- 武蔵野市民科は、「市民性」を「自立」「協働」「社会参画」の3つの視点から総合的に育成する。その際に、学習内容と育みたい資質・能力の関連を明確にする。
- 武蔵野市民科は、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、特別活動等の学習内容を教科等横断的な視点で単元を構成する。
- 単元計画を構成、実施するに当たっては、児童・生徒の日常生活や武蔵野市の社会や文化、歴史の中から課題を発見・解決するなど、問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
- 実施学年は、小学校第5学年から中学校第1学年までを想定する。
- 発達段階や児童・生徒の実態に合わせ、重点とする視点、学校行事との関連、上下学年との系統性、家庭・地域との連携などに留意する。

参考資料

各学校が「市民性を高める教育」に位置付けている 各教科等の単元及び教育活動の例について

	自立	協働	社会参画
目指す児童像を設定している例	自己理解を深めるとともに、集団における自己の役割を自覚し、責任をもって主体的に行動できる子ども	周りの人に対して思いやりをもち、お互いに助け合い、目指す目標に向けて協力し合える子ども	ボランティア活動や地域行事に参加し、地域の一員として地域社会の向上のために進んで行動する子ども
各教科の例 5年	国語「次への一歩・活動報告書」 社会「自然災害を防ぐ」 家庭「わが家にズームイン」 「おいしい楽しい調理の力」 「めざそう買い物名人」 体育「心の健康」「けがの防止」	国語「明日をつくるわたしたち」 「百年後のふるさとを守る」 音楽「合唱、合奏」	国語「新聞を読もう」 「百年後のふるさとを守る」 社会「わたしたちの国土」 「わたしたちの生活と食料生産、工業生産」 「情報を生かすわたしたち」 「環境を守るわたしたち」
各教科の例 6年	国語「カレーライス」 「忘れられない言葉」 「笑うから楽しい」 「時計の時間と心の 時間」 「今、私は、ぼくは」 「生きる」 家庭「私の仕事と生活時間」 「任せてね今日の食事」	国語「きいて、きいて、きいてみよう」	国語「未来がよりよくあるために」 「ようこそ、わたしたちの町へ」 社会「歴史学習」 「わたしたちのくらしと日本国憲法」 「日本とつながりの深い国々」 「世界の未来と日本の役割」 理科「生物と地球の環境」 家庭「あなたは家庭や地域の宝物」
総合的な学習の時間 5年	セカンドスクール	セカンドスクール	スマイルプロジェクト（聴覚障害について） 防災について考えよう
総合的な学習の時間 6年	卒業プロジェクト	日光の自然と歴史に触れよう 福祉について考えよう	お世話になった小学校 福祉について考えよう（特別養護老人ホーム等との交流） むさしのばやしに取り組みよう
特別活動	クラブ活動、委員会活動	係活動、当番活動 異年齢交流（集会、給食...）、クラブ活動、委員会活動	クラブ活動、委員会活動、1年生のお世話 卒業、進学に向けて、将来の自分ができることを考える
学校行事	運動会、学習発表会、展示発表会、卒業式	運動会、学習発表会、学芸会、展示発表会、卒業式	社会科見学、租税教室、救命救急講習
その他	防災宿泊訓練、青少協ジャンボリー、吹奏楽クラブの施設訪問演奏		

【確認①】 これまでも各学校では、各教科等において「市民性を高める教育」を推進してきたが、武蔵野市民科では市民性を「育む」ために、意図的・計画的に単元を構成し、学習を進めていく。

【確認②】 武蔵野市民科では総合的な学習の時間を中核とし、「特別の教科 道徳」「特別活動」以外にも、各教科の学習も関連させていく。

2. 本日の議題①

教育課程上の位置付けと学習の進め方について

【議論①】武蔵野市民科の実施学年をどのようにするか。

(現在の設定…「実施学年は、小学校第5学年から中学校第1学年までを想定する」)

中学校1年までの場合 → ○セカンドスクールを市民性育成の中核として構成をしていくことができる

△市への提言など社会参画意識の醸成がどの程度できるか

中学校3年までの場合 → ○市への提言などより社会参画意識を醸成する学習も可能となってくる

△総合的な学習の時間をはじめとした授業時数の確保を行うことができるか

第2回作成委員会資料より（子どもの発達段階の特徴と重視すべき課題）

～青年前期（中学校）～

○思春期に入り、親や友達と異なる自分独自の内面の世界があることに気づきはじめるとともに、自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索しはじめる時期。また、大人との関係よりも、友人関係に自らへの強い意味を見いだす。

○さらに、親に対する反抗期を迎えたり、親子のコミュニケーションが不足しがちな時期でもあり、思春期特有の課題が現れる。また、仲間同士の評価を強く意識する反面、他者との交流に消極的な傾向も見られる。

～重視すべき課題～

- ・人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して、自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考
- ・社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成
- ・法やきまりの意義の理解や公德心の自覚

2. 本日の議題② 武蔵野市民科で 取り扱う学習内容について

【議論②】武蔵野市民科の目標達成や、資質・能力の育成を図るために、武蔵野市民科として、どのような学習内容を取り上げていくとよいか。

参考資料①現在、市内小・中学校で実施されている「総合的な学習の時間」の内容の中で武蔵野市民科に関連すると思われるテーマ

※分類テーマは事務局による。（）内は市民性との関連（自＝自立、協＝協働、社＝社会参画）

キャリア教育

5年 6年生に向けて（自・協）
6年 仕事って何だろう（社）
中学へジャンプ（協）
中1 進路学習（自・社）
働くということ（社）

福祉、ボランティア

5年 高齢者や障害者と交流（協・社）
6年 幼稚園へボランティア（協・社）
市民社協の福祉学習（社）
中1 福祉学習（社）

国際理解教育

5年 海外の方との交流（協・社）
6年 海外の方との交流（協）
オリンピック等の調査（協・社）
中2 多文化共生社会について（社）
中3 国際理解学習（社）

伝統・文化理解

5年 セカンドスクール（自・協・社）
6年 日光移動教室（自・協・社）
むさしのばやし（社）
中1 セカンドスクール（自・協・社）
中3 修学旅行に向けて（自・協・社）

環境教育

5年 セカンドスクール（自・協・社）
CO2削減アクション（自・社）
地球について考えよう（自・社）
中1 セカンドスクール（自・協・社）
環境学習（社）

防災・安全教育

5年 防災について考えよう（協・社）
6年 地震を知る（自・社）
中1 救命救急技能研修（自・協・社）
中2 地域防災教育（自・協・社）

セカンドスクール

ねらい○自然とのふれあい
（豊かな情操,知的好奇心等）
○長期宿泊体験
（生活自立,豊かな人間関係）
○協働・交流（自主性,協調性）

参考資料②武蔵野市第五期長期計画施策体系から武蔵野市民科に関連 すると思われるテーマ例

平成28年4月 武蔵野市「武蔵野市第五期長期計画・調整計画」より

○市民活動の活性化

NPO・市民活動団体、企業や大学、コミュニティ活動団体等、多様な連携や協働

○魅力ある都市文化の発信と都市観光の推進

より多くの人に、より分かりやすく本市の魅力を発信、来街者の誘致

○市民の共有財産である緑の保護・育成

市民とともに緑を守り、育んでいく

○参加に基づく計画的なまちづくりの展開

街づくりへの提案や意見提出による地域特性に合った地域ごとのまちづくりの推進

○市民参加のあり方の追究

児童・生徒への主権者教育の推進

1 単元名
関連テーマ

2 育成を目指す資質・能力

○知識・技能 の習得	
○思考力・判 断力・表現 力等の育成	
○学びに向か う力・人間 性等の涵養	

3 単元において具体的に育成を目指す資質・能力

○知識・技能 の習得	
○思考力・判 断力・表現 力等の育成	
○学びに向か う力・人間 性等の涵養	

4 中核となる教科等の単元計画（中核教科等名

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科・関連団体

5 関連する教科等の学習活動

関連教科等名	時数	主な学習活動

合計時数 〇時間

6 備考

--

- 1 単元名 発信しよう！武蔵野市の魅力
関連テーマ 魅力ある都市文化の発信と都市観光の推進

2 育成を目指す資質・能力

○知識・技能の習得	(社会参画) 地域や社会的課題などへの理解
○思考力・判断力・表現力等の育成	(自立) 情報活用能力 (社会参画) よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力
○学びに向かう力・人間性等の涵養	(協働) 自己有用感 (社会参画) 公共心や社会連帯の自覚

3 単元において具体的に育成を目指す資質・能力

○知識・技能の習得	調べ学習や地域の商店、年中行事に携わる方へのインタビューを通して我が国や東京都、本市の観光に関する状況や取組について知り、海外を含め、より多くの人に来街してもらうために様々な人々が工夫や努力していることについての理解を深める。
○思考力・判断力・表現力等の育成	調べたことを基に、より多くの人に武蔵野市の魅力を伝える「武蔵野市PRパンフレット」やプレゼンテーションをまとめ、発信する学習を通して、武蔵野市の特徴やよさについて考え、発信する力を育む。
○学びに向かう力・人間性等の涵養	武蔵野市観光機構等と連携し、作成したパンフレット等を使って武蔵野市PRの仕方を考えるなど、武蔵野市のよさや魅力について考え、発信しようとする態度を育む。

4 中核となる教科等の単元計画 (中核教科等名 総合的な学習の時間)

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科・関連団体
観光立国を推進している国の現状を知り、観光推進による利点などについて考える。	1	訪日外国人数の変化のグラフなどから、我が国の観光客数の推移を読み取り、観光客数がなぜ増加している考える。日本への観光客が増えることでどのような利点などがあるか考え、観光庁の資料等から観光に関する経済波及効果などについて調べる。	観光庁HP
武蔵野市のよさや特徴について考え、武蔵野市の魅力を発信する計画を考える。	2	武蔵野市のよさや特徴について自分なりに考え、おすすめの場所・行事・食事・交通などについて、武蔵野市に来街する人々や観光客に武蔵野市の魅力をPRするためのパンフレットを作成し、発信するための計画をつくる。	国語
武蔵野市のよさや特徴について、調べ学習やインタビュー等を通して理解を深める。	6	武蔵野市観光機構やむさしのキッズページのホームページから武蔵野市のよさや特徴などを調べる。学区近隣の場所やお店等にも武蔵野市の魅力として発信したい場所がないか調べ、インタビュー等を行う。	むさしのキッズページ 近隣店舗等
武蔵野市の魅力をまとめたパンフレット等を作成し、そのよさを発信しようとする。	5	武蔵野市PRパンフレットなどを作成し、武蔵野市観光機構の担当者や地域の方々等にプレゼンテーションを行う。武蔵野市観光機構と連携し、作成したパンフレット等を活用した武蔵野市PR作戦を考える。	武蔵野市観光機構

5 関連する教科等の学習活動

関連教科等名	時数	主な学習活動
国語「ようこそ、私たちの町へ」	12	武蔵野市民科としての本単元と関連させ、武蔵野市のよさを伝えるパンフレットについて、効果的な構成や材料の配置、記述を考えて編集・作成をする。
特別の教科 道徳C-14 「社会や公共のために役立つ一桜守の話」	1	桜守の佐野藤右衛門さんの人々のために働く姿から、社会や公共のために役立つことの大切さについて考えるとともに、武蔵野市民科としての本単元と関連させ、武蔵野市においても、まちを訪れる人々のために働く人々がいることにつなげていく。

合計時数 27 時間

6 備考

○武蔵野市PRパンフレットの構成・記事作成・推敲については国語を中心に行う。 ○特別の教科道徳の授業では、まちを訪れる人々が「武蔵野に来てよかった」と思えるよう、本市においても市民ボランティアなどが活躍していることを取り上げる。

武蔵野市民科作成委員会検討スケジュール(案)

特設教科 武蔵野市民科カリキュラム作成委員会(平成29年度)

1年目の目標<武蔵野市民科の方向性の確定>

	日程	場所	検討内容
第1回	10月12日(木)15:00~16:45	武蔵野市役所 教育委員会室	・特設教科 武蔵野市民科の必要性について
第2回	11月14日(火)15:00~16:45		・特設教科 武蔵野市民科の必要性について ・特設教科 武蔵野市民科の目標と育みたい資質・能力について
第3回	12月27日(水)10:00~12:00		・特設教科 武蔵野市民科の目標と育みたい資質・能力について ・小中連携教育研究協力校の報告について
第4回	2月20日(火)15:00~16:45	武蔵野市役所 301会議室	・市民科の学習内容と指導上の留意点 ・小中連携教育研究協力校の報告について
第5回	3月14日(水)15:00~16:45	武蔵野市役所 教育委員会室	・市民科の学習内容と指導上の留意点 ・次年度の計画検討

武蔵野市民科カリキュラム作成委員会(平成30年度予定)

2年目の目標<モデルカリキュラムの確定>

	日程	場所	検討内容
第1回	4月下旬 15:00~16:45	武蔵野市役所	・武蔵野市民科のモデルカリキュラムの提案及び検討
第2回	5月下旬 15:00~16:45	武蔵野市役所	・武蔵野市民科のモデルカリキュラムの提案及び検討
第3回	6~7月 13:30~14:30(授業視察) 14:40~16:45(会議)	小中連携教育 研究協力校	・小中連携教育研究協力校による授業提案 ・モデルカリキュラムの検討
第4回	10~11月 13:30~14:30(授業視察) 14:40~16:45(会議)	小中連携教育 研究協力校	・小中連携教育研究協力校による授業提案 ・モデルカリキュラムの検討
第5回	12月下旬~1月中旬 15:00~16:45	武蔵野市役所	・武蔵野市民科のモデルカリキュラムの完成